

協 議 会 議 事 録				
会議名	平成 25 年度 第 1 回江田島市公共交通協議会			
日 時	平成 25 年 4 月 26 日 (金) 14:00~15:30			
場 所	江田島市役所 2 階会議室			
出席者	県立広島大学	名誉教授	の はら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教 授	おかやま まさと 岡山 正人	×
	江田島バス株式会社	代表取締役	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	すぎい くみお 杉井 公美雄	○
	広島県旅客船協会	会 長	に った いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会 江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会 長	おがた けんそう 小方 憲三	○
	江田島市老人クラブ 連合会	会 長	なかもと のぶこ 中元 信子	×
	江田島市社会福祉協議会	会 長	おおつ かつひこ 大津 克彦	○
	江田島市女性会連合会	会 長	おかだ れいこ 岡田 鈴子	○
	江田島市観光協会	会 長	いとう ふみお 伊藤 富美雄	×
	中国運輸局海事振興部 旅客課	課 長	おかざき えいじ 岡崎 英治	代理出席 太刀掛 真治
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	ふじもと かずのり 藤元 一則	○
	広島県地域政策局 地域政策総務課	課長兼政策監	どい つかさ 土井 司	代理出席 渡部 洋
	江田島警察署	地域交通課長	ひら のりたか 平 徳隆	○
	市議会交通問題調査 特別委員会	委員長	と ち やすのり 登地 靖徳	×
	江田島市	副市長	しょうい よしあき 正井 嘉明	○
	江田島市	総務部長	どて さんせい 土手 三生	○
江田島市	土木建築部長	はこだ のぶひろ 箱田 伸洋	○	

1 開 会	
事 務 局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	あいさつ
2-1 自己紹介	
各 委 員	自己紹介
2-2 副会長及び監査の指名	
会 長	土手委員に副会長，小方委員に監査を指名
3 議長の選任について	
事 務 局	野原委員を議長に選任
4 協 議	
(1) 平成 2 4 年度歳入歳出決算について	
事 務 局	－資料 1-1 により説明－
議 長	協議事項 (1) 平成 2 4 年度歳入歳出決算については，事務局からの説明のとおり。監査委員の小方委員から監査報告をお願いしたい。
委 員	－資料 1-2 により監査報告－
議 長	<p>只今，平成 2 4 年度歳入歳出決算について，事務局から説明及び小方委員からの監査報告があった。本件について，ご質問及びご意見等があればお願いしたい。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは，協議事項 (1) 平成 2 4 年度歳入歳出決算について，皆様方の承認を得たものとさせていただきます。</p>
(2) 平成 2 5 年度事業計画及び歳入歳出予算について	
事 務 局	－資料 2-1, 2-2 により説明－
議 長	只今，平成 2 5 年度事業計画及び歳入歳出予算について，説明をいただいた。ご質問及びご意見等があればお願いしたい。
委 員	今日，はじめて平成 2 5 年度の事業計画にあがることを広報等 (特産品プレゼントキャンペーン) で先に出ているのは，如何なものかと思う。ここで協議をしてから，決まって配布するものではないかと思ひ質問させて頂いた。
議 長	平成 2 5 年度歳入歳出予算が説明されている訳ですが，実はその前に，既にこの事業計画に伴う事業が印刷されて公表されているのではないかというご質問です。事務局でその点に関して，ご説明をお願い

	する。
事務局	言われたとおり、順序が逆になっていることに間違いはない。今回の利用促進策を 4 月 1 日から実施したいというのがあり、3 月に会議の都合がとれなく、今日、事後で承認を頂くという形となったのは、大変申し訳なく思う。この点については、ご容赦頂きたい。
議長	ご指摘のとおり、既に 4 月でことが動いているということ。この協議会で承認をされてしかるべきものが既に行っているということで、時期の遅れで申し訳ないという説明でした。いかがでしょうか。
委員	書面決議という事もありますので、大事なことは棚上げしないで、書面決議又は説明文書等を配布されるのが適当ではないかと思う。
議長	書面でいいので各委員に周知させていた方がいいのではないかとというご指摘でした。
事務局	次から気を付けるように致します。申し訳ありません。
議長	次回からは、書面でも事前に委員の皆様方にお知らせするという事で、よろしく願する。他にいかがでしょうか。 (質疑なし) それでは、平成 25 年度事業計画及び歳入歳出予算につきましては、委員の皆様方のご承認をいただいたということで、とりまとめさせていただきます。
(3) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について	
事務局	—資料 3 により説明—
議長	只今、事務局から地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について説明があった。何か確認しておきたいこと、ご質問及びご意見があればお願いしたい。 (質疑なし) 参考資料として、陸上交通データ等が出ている。よろしいか。問題なければ、協議 (3) の地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、ご承認いただいたということでとりまとめさせていただきます。
(4) 西能美航路の再々編に向けた前提条件整理について	
事務局	—資料 4 により説明—
議長	事務局から、西能美航路の再々編に向けた前提条件整理について説明があった。乗降人員の減少及び収支の見通しが、非常に厳しいというご指摘も頂いた。7 月に向けての海上輸送の問題について、議論をしていきたいということで、今日はこの法定協議会において、委員の皆様方のご意見を賜り、7 月の議論に反映させていきたいというご指摘です。委員の皆様方の忌憚のないご意見を賜りたいと思う。よろしく願する。

	<p>事業者の方から見た場合、荒い単純計算ということではありますが、この数値について、何かあればお願いしたい。</p>
委員	<p>現状は現状なのです。将来のことについては、単純に人口の減、減少率ということでやるしか方法がないと思う。我々が航路をやっているのは、そうならないように頑張っている。じゃあどれだけそれで挽回できるかというのは、なかなか想定しにくい面がありますから、傾向値で見るしかないと思う。一応、馬なりで行ったら、こういうことになりますと。それに対して、どういう対策をとるのかというのを考えていくという定義になると思う。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。ここで言うと単純な運賃値上げという形が一番計算しやすい訳ですけども。何かそういう意味でのアイデア等もあればお願いしたい。</p>
委員	<p>現行の運行体制を維持したままで、収支を均衡させるためにはということだが、三高航路では 15.5%，中町・高田航路では 44.5% の運賃の値上げということが示されているが、これに更にまた、この時期には消費税も加算されてくる訳ですが、ということになると、1.5 倍ぐらいの運賃体系になる訳です。利用者代表として委員に選ばれて出ている訳ですが、利用者としてこの負担に耐えられるかどうか。もうインフラとか何とかというものじゃ無くなっていくのではないかと思う。江田島市で一番の重要なインフラということになると、海上交通が私は一番のインフラという風に思う。それが利用しにくい状態になるということになると、江田島市が無くなっていくのではないかと。色んな事業者としても知恵を出して頂いているとは思いますが、人口がどんどん減っていく中で、このような数字が示されると、やはり算数のうえですから、実際に差引も算数でいきますと、確かにこうなるのではないかと気はするのですが、そこはどのように、この交通協議会あるいは市として対応するかという分について、もうちょっと暖かみのある数字というか、対応を示してしていただきたいと思う。これはあくまでも利用者の立場で。今のところ 900 円、1,000 円近い運賃が、それが 1,500 円ぐらいになる訳です。消費税なんか加わったら 1,600 円ぐらいに。病院にも行かなくなる。</p>
議長	<p>只今、大変深刻な意見が出た訳ですけども、市としては、こういうような考え方で臨んでいきたいという考えがあれば、聞かせて頂きたい。</p>
事務局	<p>今、44.5% の値上げが必要ということで申し上げたが、ここでは単純計算すれば、今のままの運行を続ければ計算上こうなるということ。12 月に向けて、そうならないためにどんな案が考えられるか、知恵を絞っていきたいと考えている。</p>

議 長	住民の方々のご負担がさらに増えていくような形にならないように検討願いたいということです。
委 員	<p>説明では、単純計算であるということですよ。非常に評価しにくい面はあると思うのですけれども。例えば、三高航路と中町・高田航路のいわゆる違い。収益の比較をしましても、例えば三高航路で 15.5% で中町・高田航路では 44.5% の運賃の値上げが必要であるということ。逆にその背景にもっているものというのは、結局、収支の形の具合がそうなのであるということになるかと思うのですけれども。要はこの違いを整理して、もうちょっと分かりやすくした方が同じ 44.5% になりますと言っても。じゃあ、なぜそうなるのか。ざっと見ても民と官の違いとか、あるいはフェリーと高速艇の違い。とにかく違いをずっと整理して、結局こうなるのだというような説明をしないと。中町・高田から乗る人はいくら、三高から乗る人はいくらでということになって、じゃあ、あちらから乗ろうかと選択していくというようなことになるのではないかと思う。色々、経営のやり方とか色々あるのだからと思うのですけれども、何がそう違うのか、官と民で違うだけでも、そのの所はどうなるのかとかいうような形の部分。別の言い方をすれば、人件費、燃料費、減価償却。先程出ていた消費税も 10% は 10%、5% は 5% ですから。違いが何なのかという所をしっかりと分析していく必要があるのかというように気がする。ただ、答が見つからないので、そういう分析をとることをしっかりとしないというように気がする。</p>
会 長	<p>民と官の違いじゃないかと一口で言われる訳ですが、大きな一つの要因は、一例を挙げれば、これも一例ですけれども、ご承知のように、この西能美航路の再編に関わっては、2年前にフェリーを一元化という取り組みを行った。その時には、お互いに黒字になるだろうという試算をして、お互いに win win の関係になるだろうということでスタートしたのですが、結果は芸備商船があのような形になり、交通船も。よく考えてみると、一元化の時に江田島市の交通船は 1,030 円を 930 円まで下げた。値引きした訳です。小用から宇品航路は 1,030 円で民は運行している。官は一方、930 円で運行している。そこに既に 100 円の違いがあるのです。単純計算して、いま年間 60~70 万人ぐらいが、交通船をご利用頂いている。年間に、これを 100 倍すると 6,000 万~7,000 万の売り上げがそこに無くなっている。それにむけて、6 枚券という回数券を発行した。そういった所がいわゆる民と官の具体的な一元化をはかった時の住民の皆さんにご理解を頂くために 100 円下げ、6 枚券を発行することにより、約 6,000~7,000 万、あるいは 8,000 万ぐらいのそこに収入減が生じて、このことがやはり、響いているのではないかと</p>

	<p>いうふうには分析はしている。これは一つの一例ですけれども、まだまだ色々な工夫・改善が十分なされていないということがあると思うが、そういった所がまず気が付く。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>今、会長からコメントして頂きましたが、こういった計算の際、それが現在に至って、そのまま現在の赤字をもたらしているというような答です。</p> <p>他に何かご意見等いかがでしょうか。</p> <p>只今の意見、5～7月にかけての海上分科会で更に議論を深めて頂くということになるかと思うが、それに向けて何か委員の皆様方から、ご意見あればお願いしたい。こういう点を検討して頂きたいという併せてお願いということで、ご意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>7月までに分科会をされるのであれば、それまでに民と官の違いを皆さんに見えて分かるような表と言うか、数字がはっきりしてから、初めてこういう議論ができると思う。だからそれまでに、準備をして頂ければ。また、こういうままの会であつたら同じことだと思ふ。とにかく違いがあつて、分かつて初めて皆さんと議論ができるのではないかと思う。だから、お互いにこれだけは努力した、業者はこれだけ努力したという所が見える資料を出して頂ければ、また議論の甲斐もあると思ひますけれども。利用者の立場として、はっきり目に見える資料が欲しいと思ふ。よろしく願ひする。</p>
会長	<p>今、ご意見があつたので、交通船の方も当然これを踏まえて。今年もご存じのように当初予算、平成25年度当初予算、交通船に5,000万の繰り入れをしないといけない状況となり、5,000万の繰り入れをさせていただく。真水で5,000万というと江田島市にとって非常に厳しい状況の中で、どう維持していこうか、しかし一方、限界にきているのではないかということで、交通船の方の工夫・改善をこれまでもしてきましたけれども、具体的な工夫・改善を定義しながら、ご理解頂き、西能美再編のひとつ方向性の一助になればということで、交通船の方も企業局も当然、工夫・改善をしていくという時期には来ているというふうを考えているので、海上分科会でも勉強しながら、法定協の中でご意見を頂きたいと考えている。</p>
議長	<p>市の方としましては、5,000万の繰入等をやっていますけれども、その他の更なる工夫・改善を賜れば、それも付け加えて、検討を加えたいということです。これについて何かご意見があればお願いしたい。</p> <p>とにかく官と民の資料を明示して頂き、どのくらいの負担が現実にならされているのか、なぜなのかとそういう経緯の所をつぶさに出して頂きたいと。そして議論をしていきたいというご指摘でした。そう</p>

	<p>いったことも踏まえて、何かご意見があればお願いしたい。いかがでしょうか。</p> <p>それでは、事務局の方で何かそういった資料をさらに付け加えて頂き、7月に向けての海上分科会での議論が更に進むようによろしくお願ひしたいと思う。そして、海上分科会でどのような議論がその後展開されていったのかということ、また協議会でご説明・ご報告をして頂きたいと思う。いずれにしても、委員の皆様方から言われますように、この江田島市にとって、この航路の問題は重要な問題でありますので、これから更なる検討を加えて頂きたいと思う。よろしくお願ひしたい。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは海上分科会、ご苦勞でございますけれども、議論を更に積み重ねて頂き、この協議会に議論の経過あるいは結果をお知らせして頂ければと思う。</p> <p>それでは、この西能美再編の再々編に向けた前提条件の整理について、ご承認頂けたということで次の議題に移らせて頂く。</p>
(5) 平成 25 年度の航路利用促進について	
事務局	－資料 5 により説明－
議長	委員の皆様方から、ご意見及びご質問があればお願いしたい。いかがでしょうか。
委員	船の中で頂いたチラシの中に、国外とありますが、国籍が違ってても住所が日本にあれば良いのか。国外に住所がある方は申し込みができませんと書いてある所があるのですが。
事務局	国外に住所のある方は、対応が難しいという所で。国内にいてくれさえすれば大丈夫。
委員	国籍が外国の方でも住所があればよろしいのか。
事務局	はい。
議長	国外の方でも乗船されるときには、サービスが受けられるということ。他に何かご意見があればお願いしたい。
委員	大きく分けて 2 つの事業だと思う。船に乗ったら何かあげますということと子どもの日あるいは夏休みに船を安くしますということなのですが、根本的な解決になってないのです。一時的なことなので、これは是非、将来に渡ってまた来たい。安いからでなくてというのを作らないといけないと思う。そういう意味では、船もこういうふうに頑張るから、江田島市内の色々な観光施設や体験ものであるとか、一緒になって、また来てもらうというものをやらなくてはいけないと、前回も言ったかと思う。例えば、民泊を修学旅行向けに江田島市の方で頑張ってやって頂いている。体験学習のメニューもいっぱい出

	<p>来たと思う。そういうものを船も安くしますし、安い船に乗って来て、何ができるのという所が一番のポイントだと思う。そういうものとセットで、じゃあ江田島に来て、子ども達に漁業体験やみかんの体験なり、そういうものをしましょうと。船も料金を安くすることでバックアップするし、その体験の時にお子さんも船に泊まるとかですね、そういうのを組み合わせるとというのが非常に大事になってくるので、今年、また協議する中で是非、江田島の観光全体のことと船と一緒にやってやらせて頂きたい。それと来年、しま博覧会がある。これで今、事務局も県の中にできて、ものすごい急ピッチで、何をしま博の行事にするかをやっている最中です。じゃあ江田島としては、このしま博覧会に向けてのどういうメニューを用意してやろうかというのを考えておられますかね。どんどん進んでいますので、そこへ向けてアピールしなくてはならない。逆に船とも一緒になって、こんなこともしましょうという計画がどんどん出来なくてはいけないので、そこをしっかりとやって、船で江田島にどんどん来て、どんな体験ができるというのをしま博をきっかけに残るようなものとして定着させるということが大事になってくると思う。我々、まったく何をされているのか分からない。船会社は。観光協会へ入ればいいじゃないかという話なのですが。我々も知恵がいっぱいありますから、しっかりと一緒になって船とも一緒になって、島が発展しない限り、船は発展しないという考え方だと思うので、是非、よろしく願う。</p>
議 長	<p>大変心強いご発言です。ただ単に船を利用する者が安くなるだけではなくて、やはりもう少し来られた方に動機付けが出来るような、そういうようなことが出来るのではないかと。ましてや来年、しま博が行われるということであれば、なおさら、そういったイベントと船会社の方々とどういう形で連携が出来るのかというのは、大変重要な議論だと思いますが、事務局でその点何かご意見があればお願いしたい。</p>
事 務 局	<p>おっしゃられるとおりでと思う。夏休みに向けては、これから広報でただ安くなるということではなく、こういったものもあるというようなものが広報の中に盛り込めるように、観光の部署とも連携をとりたいと思う。しま博の件については、県とも協議をしており、だいたい一つの市町で県のメインイベントがあり、江田島市も相談を受けている。県から江田島については、江田島アウトドアフェスティバルというようなイベントをやってはどうかとお話を頂いている。内容については、シーカヤック、サイクリング、トレッキングを組み合わせた競技大会のようなものが江田島の方でできないかということで話を受けており、調整をしているところ。それ以外の地域イベント等で地元にお声をお掛けしているところで、徐々に見えるようになるようにし</p>

	たいと思っている。
議 長	この件に関しては、7月にかけての海上分科会で更に議論を深めて頂くということで、今言われたのは、一過性的なイベントですけれども、日常的な取り組み、例えばサイクリングもかなり日常的に取り組んでいるようですので、そういったものの議論を7月に向けての海上分科会で議論を深めて頂くということになるのかと思っているのですけれども。その点はいかがでしょうか。
事 務 局	海上分科会での議論では、航路の無料化実験等ということで話ができいておりますので、これから先は、体験メニューとか市の方でやっているものは、商工観光課と我々の方で調整を図りながら、島の中でこういったイベントができるか、あるいは船舶会社の皆さんに、ご協力頂けることがあればということで、つなぎ等をさせて頂きたいと思う。海上分科会でそういった議論をするというのは、趣旨として違うものと考えている。
議 長	分かりました。観光協会との連携もとりながら、議論を進めていくということではよろしいのか。
事 務 局	はい。
議 長	<p>分かりました。それでは海上分科会ではないのですけれども、一般的に市の方としては、更に関係の組織・団体との協力をしながら、航路利用促進について、更なる議論を深めていきたいということです。他に何か意見があればお願いしたい。</p> <p>それでは、この航路利用促進は、ただ単なる料金の引き下げ、あるいはプレゼントをさしあげるということではなく、更なる利用促進ができるような形で様々なイベントや行事等と結びつくような形で展開できるように、今後更に検討を加えていきたいということで、この協議会については承認して頂くということで、取りまとめたいと思う。よろしいか。</p>
5 その他	
中国運輸局	—公共交通機関の運行安全及び利便の確保について説明—
議 長	<p>只今の中国運輸局のご説明に質問等があればお願いしたい。</p> <p>それでは、本日の江田島市公共交通協議会を終わらせていただく。長時間、慎重審議して頂き、ありがとうございました。</p> <p>次回もよろしく願する。</p>
6 閉 会	